

令和2年度 学校図書館活用推進 実践報告

新潟市立大淵小学校

図書館利用状況

・児童一人当たりの年間貸し出し冊数

2017年度 200 冊

2018年度 198 冊

2019年度 179 冊(※3月休校)

朝の貸出も実施。

新潟市の平均よりも多い。

実践前の実態

○1～6年教室と図書館がすべて同じ階にあり、とても利用しやすい。進んで本を借りに来る子が多い。

○朝読書の実施(週4日)、図書の利用(週1回)もあり、担任も図書に触れ合う時間を設定している。

△読書センターとしての利用が多く、学習センター、情報センターとしての機能は、十分に整備や周知がされていなかった。

△小、中9年間を見据えた中学校区の連携は、意識されていなかった。

実践内容

①中学校区での連携(※大江山中学校区でまとめて説明)

②「学習センター」「情報センター」としての学校図書館を活用した授業実践

③「学習センター」「情報センター」としての工夫

④「読書センター」としての工夫

②「学習センター」「情報センター」として 学校図書館を活用した授業実践

・単元 1学年 国語 「じどう車ずかんをつくらう」

・授業者 山之内恵美 教諭



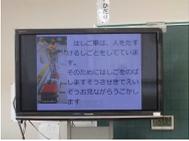
自動車図鑑を作る

デジタル図鑑



デジタル図鑑の作成→見直し

学習課題 相手に伝わる分かりやすい説明文学習課題にするには、どんなことに気を付けたらよいか。



(担任提示の不完全な文)
あれ？おかしい？
分かりやすい文に直さないとけない。



図鑑や情報カードで確認するとい。
「しごと」にあった「つくり」かどうか。



タブレットを使って直そう。

グループでかかわり合い よりよいものへ

ブルーザーについているのは、ブレードじゃないの？



本で確認

情報カードを
見直す

本で確認して、ブレードに直す



自分と他人では、違う気付き。
他人からも情報ももらって直す。

ルーブリック

目的をもったり、すべきことを自覚できるようにする。

つけたい力への到達目標とその判断基準を示す。

本単元では、情報活用能力の「調べる力」と「まとめる力」

評価項目	達成度	達成度	達成度	達成度	達成度
調べたこと	◎	◎	◎	◎	◎
まとめたこと	◎	◎	◎	◎	◎
発表したこと	◎	◎	◎	◎	◎
協力したこと	◎	◎	◎	◎	◎
振り返ったこと	◎	◎	◎	◎	◎



1枚目(表紙)

デジタル図鑑 完成!



2枚目(「しごと」・「つくり」)



3枚目(感想)

おたよりで家庭に学習を紹介



児童の振り返り

(児童の振り返りより一部を抜粋、漢字に交換。)

- ・本を読んで本を読む力もついてきました。写真を見て、本の文章も読んで、分からないものも分かるようになって嬉しかったです。
- ・お勉強したら調べられるようになってきました。情報カードでは短く書くのがいいんだなって、やったら分かってきました。
- ・最初は、「しごと」や「つくり」を見つけにくかったけど、いろいろな本を読んで「しごと」や「つくり」が分かりました。これからは難しい自動車の本を読んで、自動車名人になります。
- ・これからもいっぱい調べてもっとプロになりたいです。よく見て調べるとは難しいけど楽しいです。分かることは、楽しいと気付きました。

④読書センターとしての工夫 〇〇コーナーを設置

教科書の本



今年度から教科書が新しくなったのに合わせて新設。教科書で紹介されている本を置いています。

新聞&ふむふむ



新聞&ふむふむも気軽に読めるように

給食週間



イベントや季節に関する本をまとめて置いています。

読書を奨励するために

うちどくカード



5月の休校中に実施。カードを掲示して紹介

必読書



学年ごとに必読書のカードと、それが終わった人に推薦図書カードを用意している。今年度、本のリストをリニューアル。毎月の読書記録のデータを担任と共有(必読書、推薦図書の進行状況も)

推薦図書



読み聞かせ & おすすめの本

読み聞かせ



ボランティアさんによる読み聞かせ。各学年、年2回ずつ。

本のポップを作成



ポップ作りは、本人たちだけでなく、他の子もポップに興味が出て貸出につながっている。

読書の木



おすすめの本を葉っぱに書いて、大きな木にして掲示。

図書委員会の活動

すごろくカード



すごろくカードを作成。「9類の本」や、「伝記」などテーマの本を読むと1マス進めるカード。賞品は、オリジナルキャラクターしおりなど。

オリジナルのしおり



おすすめの本



おすすめの本を掲示したり、選んだ本を袋に入れて福袋にしっています。

福袋



図書館のコロナ対策

~子どもたちが安心して読書できるように~



床に並ぶ目印。カウンターについて。



椅子を減らし、座る間隔を空けています。



利用できる時間を分散

今後

- 中学校区で作成した「情報活用能力指導体系表」への理解を深め、積極的に活用する。また、中学校区での連携や情報交換も続けていく。
- 今年度は、国語が中心だった学校図書館年間活用計画を他教科でも活用できる単元を考え、拡充していく。
- 研究主任による授業実践のように、「学習センター」、「情報センター」としての図書館利用や、ICTの活用も進めていく。
- 来年度の新潟市は、情報活用能力を学習の基盤となる資質能力の重点としている。学校図書館は、より一層「学習センター」、「情報センター」としての役割を果たせるように全校体制で取り組んでいけるようにする。